

2021年5月27日

相模鉄道では初、5月29日（土）から 「横浜ビジネスパーク前」を天王町駅の副駅名称に 改札口では、AI画像解析技術の試験運用を開始

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道(株)（本社・横浜市西区、社長・千原 広司）では、横浜市と進めている相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業の一環で、2021年5月29日（土）から、相鉄線 天王町駅（以下、同駅）「YBP口（横浜ビジネスパーク口）改札」を使用開始することに合わせ、相模鉄道では初めて副駅名称（横浜ビジネスパーク前）を導入します。

これは、横浜ビジネスパーク（横浜市保土ヶ谷区）を運営する「野村不動産(株)（本社・東京都新宿区、社長・松尾 大作）の協力を得て、同駅に新改札を設置することに伴い、新たに副駅名称「横浜ビジネスパーク前」を導入し、駅名標に表示するものです。



天王町駅に設置する駅名標（イメージ）

また、同じく5月29日（土）から同駅の改札口（YBP口、東口※）・コンコースにおいて、AI画像解析技術（以下、「VACSシステム」）を活用したお客さまサポートの本格導入に向けた試験運用を行います。

この試験運用では、セントラル警備保障(株)（本社・東京都新宿区、社長・澤本 尚志、以下CSP）が提供する「VACSシステム」を活用した防犯カメラシステムにより、お身体の不自由なお客さま（白杖や車いすなどをご利用のお客さま）を検知します。検知情報をCSP監視員の目で確認し、その情報を駅係員に通知。通知を受けた駅係員が、お客さまのもとにお伺いしてサポートします。

相模鉄道では、今後も駅環境を整備することで、ご利用いただくお客さまの利便性や安全性の向上に努めてまいります。

概要は別紙のとおりです。

※従来の天王町駅改札口は東口に改称します。

(別紙)

天王町駅副駅名称「横浜ビジネスパーク前」の概要

1. 使用開始日

2021年5月29日（土） ※ホーム工事の進捗に伴い、順次整備します。

2. ご案内表記

天王町駅（横浜ビジネスパーク前）：（読み：てんのうちょうえき よこはまびじねすぱーくまえ）

AI画像解析技術を活用したお客さまサポートの概要

1. 試験運用の開始日

2021年5月29日（土） ※画像解析はテストのため、2021年5月27日（木）から実施します。

2. 設置場所

相鉄線 天王町駅 改札口（YBP口、東口）・コンコース

3. 防犯カメラの設置台数

6台

4. 設置内容

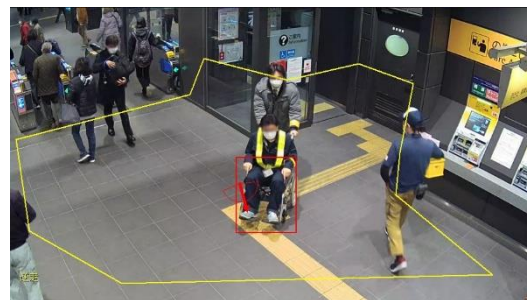
天王町駅の改札口において、セントラル警備保障㈱が提供しているAI画像解析技術を活用した防犯カメラシステムを用いて、白杖、車いすなどをご利用のお客さまを検知し、駅係員がサポートします。

5. 協力会社

セントラル警備保障㈱

6. その他

個人情報の適切な保護を目的として、相鉄グループ個人情報保護方針を厳守し、撮影した映像データは、天王町駅の安全な利用という目的の範囲のみで使用することとし、第三者へ提供することはありません。（相鉄グループ個人情報保護方針：<https://www.sotetsu.co.jp/privacy-policy/>）



「二俣川駅」での実証試験の様子

〔参考〕天王町駅改札口について

YBP口

【交通系ICカード専用自動改札機】 4通路（うちバリアフリー対応改札1通路）

※交通系ICカード以外の乗車券類（切符・磁気定期券など）は、ご利用いただけません。

【交通系ICカードチャージ機】 3機（うち改札内 1機、改札外 2機）

東口

【自動改札機】 4通路（うち交通系ICカード専用改札1通路・バリアフリー対応改札1通路）

※交通系ICカード以外の乗車券類（切符・磁気定期券など）も、ご利用いただけます。

【自動券売機】 2機・【交通系ICカードチャージ機】 1機（改札外）・【自動精算機】 1機（改札内）

なお、YBP口改札の使用開始に伴い、横浜ビジネスパーク方面への高架下通路の使用も開始します。